

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市浦和駒場体育館					
(2)施設概要	①所在地　さいたま市浦和区駒場2－5－6 ②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。 ③施設の概要 昭和49年7月1日開館　敷地面積　14,050㎡　建物面積　7,668㎡ 競技場、第1体育室、第2体育室、柔・剣道場、弓道場、卓球場、トレーニング室、会議室、テニスコート(3面) 他					
(3)指定管理者	さいたまスポーツ振興まちづくりパートナーズ					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日 ②指定管理料 令和5年度:82,186千円、令和6年度:82,186千円、令和7年度87,117千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数値) 【利用件数】　116,351件　(116,174件) 【利用人数】　291,746人　(294,405人) 【利用率】競技場:97.2%(97.3%)、第1体育室:91.3%(89.6%)、第2体育室:99.2%(96.9%)、柔道場:70.8%(76.2%)、剣道場:83.3%(84.9%)、卓球場:77.3%(71.4%)、テニスコート:88.5%(94.8%)会議室:38.1%(42.5%) ◇業務実施状況 ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など) ②維持管理業務の状況 ・施設管理業務(清掃等)　毎日 ・消防設備法定点検業務　年2回 ・防火対象物点検業務　年1回 ・変電設備点検業務　年6回 ・変電設備法定点検業務　年1回 ・非常用予備電装置点検業務　年6回 ・非常用予備電装置法定点検業務　年1回 ・非常用照明用蓄電池装置保守点検業務　年1回 ・受水槽点検業務　毎月 ・受水槽定期清掃業務　年1回 ・水質検査業務　年2回 ・簡易専用水道法に基づく立入検査業務　年1回 ・特殊建築物定期調査業務　1回/3年 ・建築設備定期検査業務　年1回 ・空気環境測定業務　年6回 ・害虫駆除業務　年2回 ・空冷カスートホップ室外機保守点検業務　年1回 ・空冷カスートホップ屋内機保守点検業務　年1回 ・フロン簡易点検業務　年4回 ・ITV設備定期点検業務　年1回 ・自動ドア定期点検　年2回 ・いすす昇降機保守点検　年1回 ・トレーニング機器のワイヤー交換　年2回 ・体育器具保守点検業務　年1回　等 ③その他の業務 スポーツ教室(シニア筋トレ教室、シニア卓球教室、骨盤体操教室、バスケットボールタイム、シェイプボクシング、テニス教室、ヨガ、ゆったりヨガ、レズミルズボディコンバット、レズミルズボディパンプ、レズミルズボディバランス等)の開催					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	27,566千円	28,031千円	人件費	37,484千円	37,591千円
	指定管理料	87,117千円	82,186千円	事務費	12,896千円	13,556千円
	その他収入	169千円	146千円	施設管理費	48,187千円	48,379千円
	【自主事業】					
	収入	6,075千円	5,571千円	支出	3,277千円	3,126千円
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	利用者アンケートを令和7年12月1日～令和7年12月22日に実施いたしました。 利用者からの要望及び利用者の安心安全を目的に、192万円の還元金を活用し、更衣室内ロッカーの一部入れ替えや競技場2階出入口への防犯カメラの新設、駐車場内防犯カメラの増設を行い、利用者への還元活動を行いました。					
(8)その他						

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
利用者アンケートの実施	令和7年12月に実施し、延べ543名の利用者にアンケートを実施いただくことができました。
厳重な防犯対策	利用者のための安心安全対策の強化及び、閉館後に不審者対策の強化として、令和7年度は還元金を活用し防犯カメラを新設・増設しました。
様々なシチュエーションでの安全管理対策研修	年2回の避難誘導訓練に加え、全職員が取得済みである救急員プロバイダー資格の資格更新講習会を開催し、有事の際に迅速で的確な対応が行えるよう職員の育成に注力いたしました。
ユニバーサルサービスの取り組み	誰もが利用しやすい環境整備の為、ひらがな表記、老眼鏡の設置、耳マークや階段昇降機の設置を行いました。 令和7年度では、ユニバーサル・チャットボードの新設や、2か国語(日本語・英語)であった多言語有線放送を4か国語(日本語・英語・中国語・韓国語)に拡大する活動を行いました。
利用収入の実績が計画を超過した場合、超過額の30%を施設・利用者に還元	安心安全な利用を目的とした防犯カメラの新設及び増設、老朽化した更衣室内ロッカーの入替を実施し、利用者へ合計192万円分の還元活動を実施いたしました。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ・トレーニング室の職員配置を令和5年度より1日4時間から常時配置に変更し、また初回講習会を毎日開催することで新たな利用者の増加につなげました。これにより多くの市民の皆様にご利用いただき、トレーニング室利用者数は令和4年度比235%と大きく増加いたしました。 ・卓球場では稼働率向上と市民ニーズに応えるため、令和5年度よりWEB予約システムを導入したことで、予約しやすい環境が整い、卓球場利用者は令和4年度比163%と大きく増加いたしました。 ・自主事業では令和7年10月に増設したヨガ教室を中心に、令和5年度比117%と増加しました。様々なライフステージに合わせた選択いただける教室を開催したことにより、施設に足を運びやすい環境提供・施設利用のきっかけ作りに努めました。 ・利用収入の実績が計画を超過した場合は超過額の30%を施設及び利用者に還元するとし、防犯カメラの新設及び増設や更衣室内ロッカーの一部入れ替えなど、令和7年度では192万円分の還元活動を実施し、市民へのサービス向上を図りました。 【経費の削減】 ・季節に応じた照明タイマー設定の変更などを行い、電気使用量削減の取り組みを行いました。 ・外気を活用した中間期の空調未使用や、体感温度改善を目的とした空調風向き変更による空調設定温度改善など、ガス使用量削減の取り組みを行いました。 ・日々のメーター値確認により配管からの漏水を早期に発見することができ、水道使用量の抑制を図ることができました。 【適正な管理運営の確保】 ・さいたま市公共予約システムにより、適正に運営管理いたしました。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B) ※A～D 1 項目別評価 【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ・幅広い内容の自主事業を展開し市民の利用促進に努めた。 ・還元金を活用し、ロッカーとカメラの入れ替えを行い市民サービス向上に努めた。 【経費の削減】 ・こまめな節電努力により電気料金削減に努めた。 【適正な管理運営の確保】 ・さいたま市公共施設予約システムを用いて適正な運営管理を行った。 2 総合評価 ・市民ニーズにこたえるため、積極的に備品の購入や交換を行うことで、スポーツの安全で円滑な利用を可能とし、スポーツ振興の発展に寄与した。
--

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上 ・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上 ・危機管理体制の再確認 ・情報セキュリティ体制の再確認
